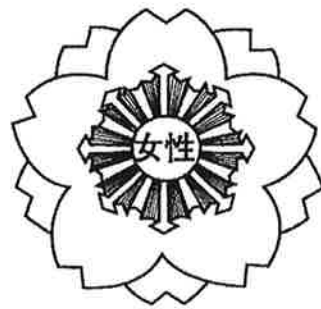


第 23 回全国女性消防操法大会実施要綱



消 防 庁
(公財) 日本消防協会

第23回全国女性消防操法大会実施要綱

1. 目 的

女性消防隊の消防技術向上と士気の高揚を図り、もって地域における消防活動の充実に寄与することを目的とする。

2. 主 催

消防庁、公益財団法人 日本消防協会

3. 協 力

秋田県

秋田市

一般財団法人 秋田県消防協会

秋田県消防長会

4. 日 時

平成29年 9月30日（土） 9時00分～14時40分（雨天決行）

5. 会 場

向浜運動広場駐車場（こまちスタジアム駐車場）

秋田県秋田市新屋町字砂奴寄 4－6

6. 役 員

大会運営委員長	日本消防協会会長
大会運営副委員長	消防庁消防大学校校長
〃	日本消防協会常務理事
大会運営委員	消防庁総務課長
〃	消防庁地域防災室長
〃	消防庁消防大学校副校長
〃	秋田県消防協会会長
〃	秋田県総務部危機管理監（兼）広報監（兼）次長
〃	秋田県消防長会会長
〃	秋田県婦人防火クラブ連絡協議会会長
〃	大阪府婦人防火クラブ連絡協議会会長
〃	長崎県女性防火防災クラブ連絡協議会会長
審査長	消防庁消防大学校校長
副審査長	消防庁地域防災室長
審査員	日本消防協会の指名する者

7. 大会次第

(1) 選手入場 —— 9 : 00

(2) 開会式 —— 9 : 15

ア 開会宣言

イ 国旗掲揚

ウ 優勝旗返還

エ 主催者挨拶

オ 祝辞

カ 歓迎の辞

キ 競技上の注意

ク 選手宣誓

(3) 選手退場 —— 9 : 50

(4) 操法開始 —— 10 : 00

(5) 休憩

(6) 操法終了 —— 13 : 30

(7) アトラクション —— 13 : 35

(8) 表彰 —— 14 : 00

ア 審査結果発表

イ 表彰

(9) 閉会式 —— 14 : 30

ア 万歳三唱

イ 国旗降納

ウ 閉会宣言

(10) 解散 —— 14 : 40

8. 消防操法種別

軽可搬ポンプ操法

(1) 5人操法

(2) 手びろめによる二重巻ホース1線延長 (ホース3本)

(3) 標的を使用し、放水を行う

(4) 収納は省略

9. 操法要領

別に定める「第23回全国女性消防操法大会操法実施要領」による。

10. 競技方法

- (1) 実際にポンプを運用し放水する。
- (2) 2コースを設定、2チーム1組で同時に実施する。
- (3) 時間測定は、指揮者の「操作始め」の「め」から標的（2個）による有効放水までとする。なお、各隊の操法タイム、総合得点を公表する。
- (4) 標的については、当日の気象状況により、距離の短縮等を行うこともある。

11. 出場隊

都道府県ごとに1隊7名とする。

（出場順序は別表1のとおり。）

12. 出場資格

都道府県消防協会が推薦する女性消防隊（消防団を含む）である者

13. 出場隊の服装

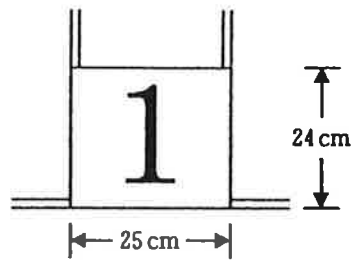
- (1) 日本消防協会が交付した活動服を着用すること。
- (2) 手袋、ヘルメットを着用すること。
- (3) 規定のゼッケンを付けること。

ア 大きさ（基準） 横 25cm ・ 縦 24cm

イ 生地は白色、黄色及び橙色のいずれか一色とする。

ウ 文字及び数字（アラビア数字）は、黒色とする。

エ ゼッケンには、文字以外のものは一切表示しないこと。



(4) 靴は、特に定めないが各隊で統一したものを使用すること。

14. 使用機械器具

D－I 級軽可搬ポンプ一式（日本消防協会仕様の二輪台車付）

15. 審査及び表彰

別に定める「第23回全国女性消防操法大会審査要領」により審査し、その結果に基づき下記のとおり表彰する。

- (1) 1位 賞状及び優勝旗を授与し表彰する。
 - ア 内閣総理大臣賞（優勝旗は、持ち廻り）
 - イ 日本消防協会会長賞
- (2) 2位及び3位 賞状及び準優勝楯を授与し表彰する。
 - ア 消防庁長官賞
 - イ 日本消防協会会長賞
- (3) 4位～6位 賞状及び優秀賞楯を授与し表彰する。
- (4) 7位～12位 賞状及び優良賞楯を授与し表彰する。
- (5) 13位以下 入賞とし、表彰する。
- (6) 優秀選手賞 賞状及び優秀賞楯を授与し表彰する。
- (7) 参加賞 出場全隊員に授与する。

※受賞要領は、別表3参照

16. 会場受付

- (1) 来賓等の受付は、大会当日の7時30分から行います。
(案内状封筒を会場受付にご提示願います。)
- (2) 出場選手の受付は、大会前日の10時00分から12時30分の間に会場で行いますので、選手代表の方は、受付にて所定の手続きを済ませること。(詳細は、別途通知する。)

17. 操法の事前準備及びエンジン調整

- (1) 大会前日のエンジン調整及び事前訓練は、別図1に示すエンジン調整事前練習場以外で行わないこと。(練習時間については、別表2のとおり)
- (2) 大会当日の出場前準備は、別図4に示す出場準備位置で係員の指示に従い実施する。
- (3) 大会当日の事前準備時間は、7時30分から8時10分までとする。

18. 出場準備

- (1) 1、2組に出場する隊は、入場行進開始前に出場前準備を行うこと。
- (2) 3組以降に出場する隊は、2つ前の隊が操法を開始したならば、別図4の出場準備位置に集合し、係員の指示に従い、すみやかに出場前準備を行う。
- (3) 出場時は、係員の指示に従って、別図5のとおり各プラカード及び軽可搬ポンプ一式を所定の位置におき、待機線上に集合して審査班長の操法開始の合図を待つ。

19. 開会式参加要領（別添 開・閉会式細部事項参照）

- (1) 入場行進参加者は、8時30分までに別図1に示す出場隊集合位置に集まり、係員の指示に従い出場行進隊形に整列する。
- (2) 入場順序は、前回優勝隊、出場女性消防隊の順とし、出場隊は別図2のとおり北海道を先頭に建制順とする。
- (3) 9時00分「選手団入場」の合図により、係員の指示に従い、出場各隊ごとプラカード（補助員）を先頭に隊長、選手の順に一直線縦隊で別図2に示す進路で分列行進を行う。

なお、各隊の間隔は4メートルとする。

- (4) 各隊の隊長は、始点標旗の前にさしかかったならば、「かしら～右」と号令し、観閲者に対し挙手の敬礼を行う。隊長が終点標旗を過ぎたところで「なおれ」と号令し、別図2に示す進路を経て所定の位置に整列する。
- (5) 国旗掲揚

「選手団まわれ～右」の号令により向きをかえ、「国旗に対し～注目」の号令で国旗に注目する。この場合、隊長は挙手の注目を行う。

- (6) 選手宣誓

場内アナウンスにより、「各隊の隊長は、総括指揮者の号令により式台のまわりにお集まり下さい。」と案内後、総括指揮者の「各隊長、かけ足～進め」の号令により、以下の要領による。（別図3参照）

ア 宣誓者

場内アナウンスの案内開始と同時に予め中央隊のプラカード前に移動する。総括指揮者の号令で、宣誓台位置までかけ足で進み、司会の「全国出場選手を代表いたしまして、〇〇消防隊〇〇隊長が宣誓を行います。」で宣誓台に上がり、姿勢を正して「敬礼」と号令をかけ、隊長全員で大会会長に対し挙手注目の敬礼を行った後「なおれ」と号令し、右手を挙手し宣誓する。

宣誓後、「敬礼」の号令をかけ挙手注目の敬礼を行い、「なおれ」と号令し、大会会長の降壇を確認後宣誓台を降りまわれ右をした後、「まわれ～右」「かけ足～進め」と号令し、自隊整列位置へ戻る。

イ 各隊の隊長

式台の前に半円状に集合した後、基本の姿勢をとり、宣誓者の「敬礼」の号令により大会会長に対し挙手注目の敬礼を行い、「なおれ」の号令により基本の姿勢をとる。

宣誓後、宣誓者の「敬礼」の号令により大会会長に対し挙手注目の敬礼を行い、「なおれ」の号令により基本の姿勢をとる。

その後、宣誓者の「回れ～右」「かけ足～進め」の号令により各隊整列位置へ戻る。

ウ 選手

選手宣誓の間、整列位置で基本の姿勢のまま注目を行う。

(7) 退場

出場隊員は、総括指揮者の号令に従い、回れ右を行いかけ足ですみやかに退場し、別図4の自席につく。

20. 閉会式集合要領（別添 開・閉会式細部事項参照）

出場隊は、総括指揮者の合図により、一斉にかけ足で自県プラカードうしろに開会式と同じ隊形に整列する。

21. 会場への交通

(1) 交通案内

ア 会場へは、別図6の交通案内図を参照のうえ来場すること。

イ 駐車場は、収容力に限度があるので、つとめて鉄道等を利用し、来場すること。

(2) 送迎バスの運行

ア 大会前日及び当日は送迎バスを運行する。（詳細は、別途通知する。）

なお、当日の開会式前は、選手の乗車を優先することがあること。

イ 乗車に際しては、係員の指示に従うこと。

(3) 駐車場

別途通知する。

コース別出場順位表

出場順位 \ コース	第1コース (本部席側)	第2コース (応援席側)
1	三重県	福井県
2	岩手県	福岡県
3	大分県	北海道
4	山口県	兵庫県
5	宮城県	広島県
6	鹿児島県	青森県
7	山形県	奈良県
8	沖縄県	長野県
9	埼玉県	島根県
10	秋田県	千葉県
11	佐賀県	滋賀県
12	群馬県	石川県
13	宮崎県	神奈川県
14	福島県	長崎県
15	山梨県	香川県
16	栃木県	和歌山県
17	静岡県	茨城県
18	大阪府	東京都
19	新潟県	鳥取県
20	徳島県	京都府
21	熊本県	愛媛県
22	富山県	高知県
23	岐阜県	岡山県
24	愛知県	

練習時間等指定表（大会前日）

(エンジン調整・事前練習)

事前練習 開始時間	第1コース	第2コース	第3コース	第4コース	ポンプ検査 時間	ホース検査 時間
11:00	三重県	岩手県	福井県	福岡県	13:30～ 14:30	11:00～ 12:00 13:00～ 14:00
11:20	大分県	山口県	北海道	兵庫県		
11:40	宮城県	鹿児島県	広島県	青森県		
12:00	山形県	沖縄県	奈良県	長野県		
12:20	埼玉県	秋田県	島根県	千葉県	11:00～ 12:00	
12:40	佐賀県	群馬県	滋賀県	石川県		
13:00	宮崎県	福島県	神奈川県	長崎県		
13:20	山梨県	栃木県	香川県	和歌山県		
13:40	静岡県	大阪府	茨城県	東京都	12:30～ 13:30	
14:00	新潟県	徳島県	鳥取県	京都府		
14:20	熊本県	富山県	愛媛県	高知県		
14:40	岐阜県	愛知県	岡山県			

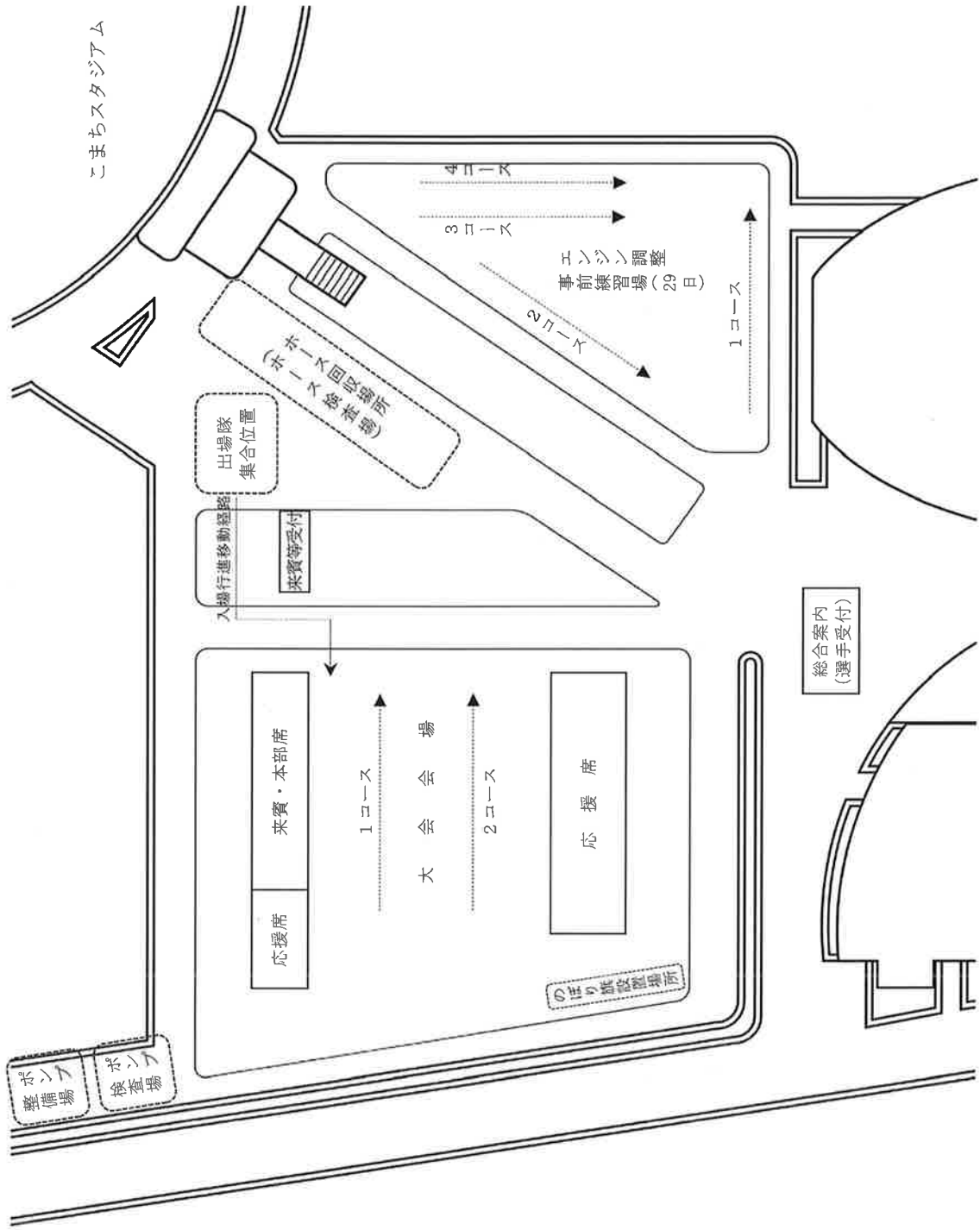
注1 大会本会場での事前練習は、禁止する。

2 事前練習は、空操法とする（放水は禁止）。

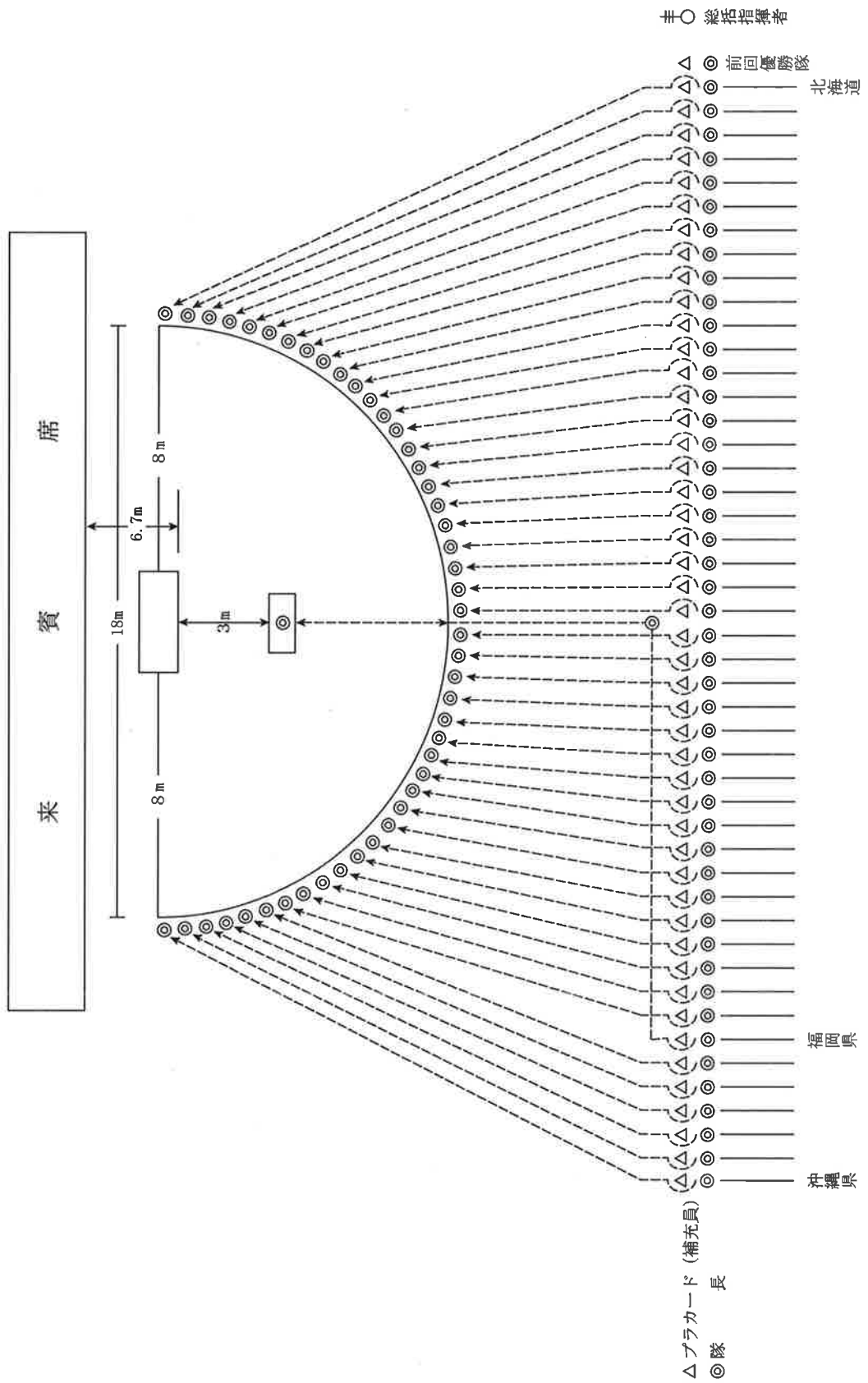
3 ポンプ検査は、指定時間内に事前検査場所においてポンプメーカーごとに検査を行う。

4 ホース検査は上記時間（12:00～13:00を除く）で行う。

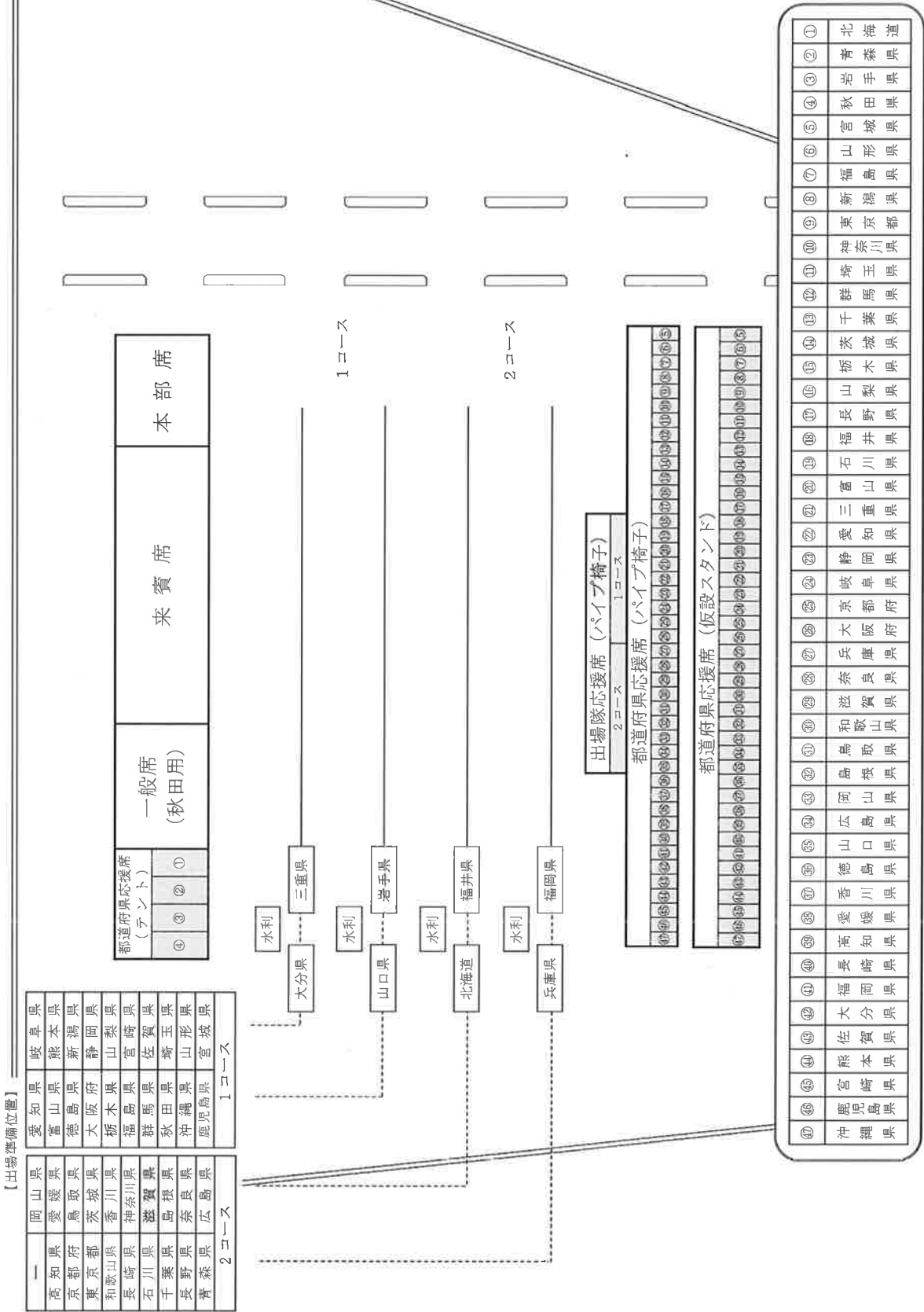
会場案内図



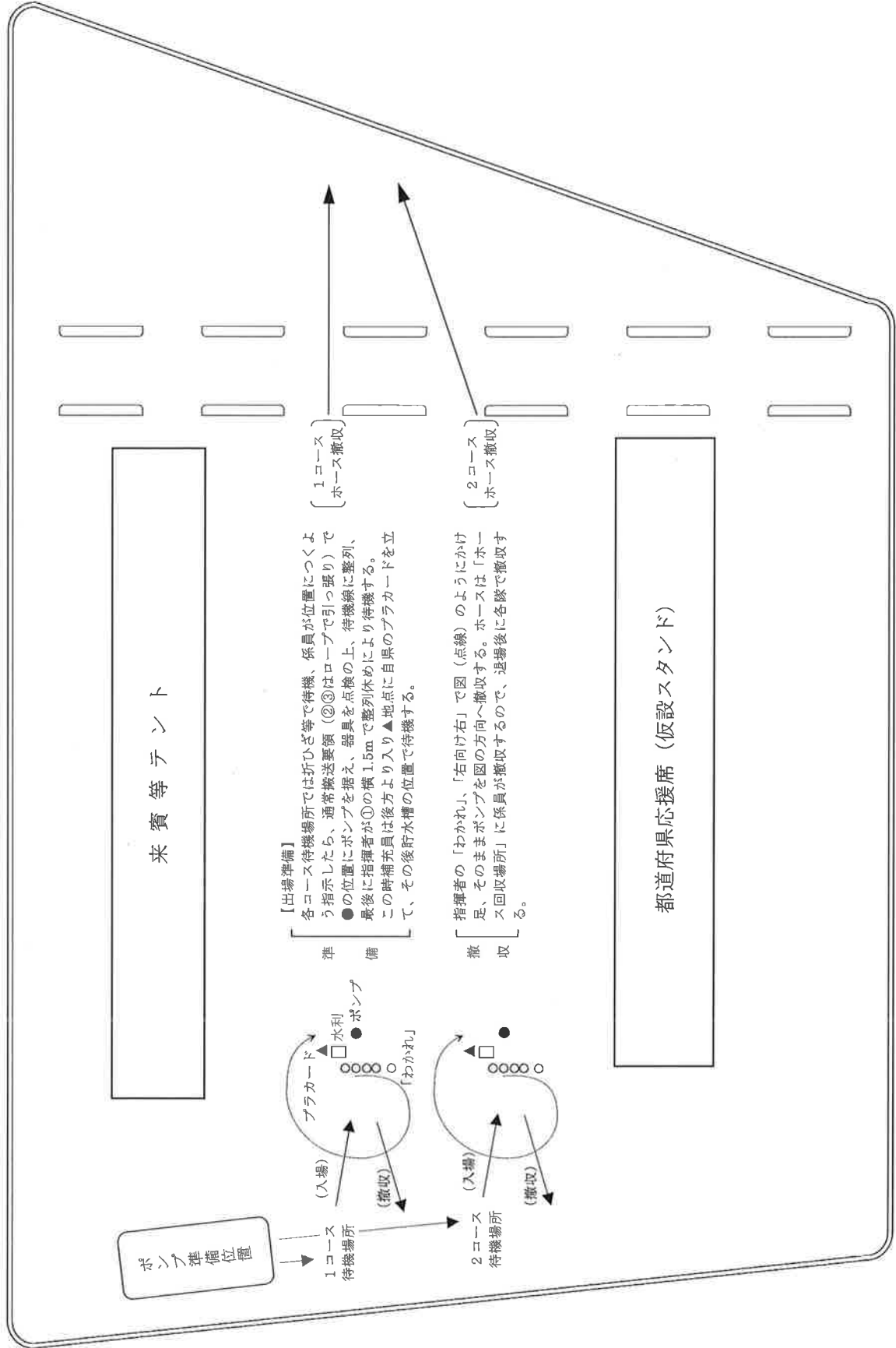
選手宣誓時の出場隊長の集合隊形図



大会本部及び都道府県応援席



出場準備及び撤収要領



交通案内図



※ 向浜運動広場までは秋田駅バスターミナルから秋田中央交通「県立プール線」に乗り、「県立プール前」で下車（約30分）

会場利用図



開・閉会式要領細部事項

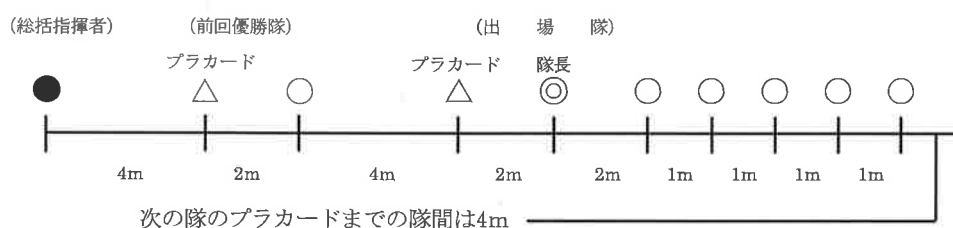
1. 入場行進要領

8時30分～開閉会式の諸説明を出場隊集合位置で行う。(別図1)

8時55分～入場行進順に予め、入場行進口まで移動する。

9時00分～入場行進開始。

- (1) 入場行進順路は(別図2)のとおりとする。
- (2) 入場行進隊形は1列縦隊とし、各距離は次のとおりとする。
- (3) 服装についてはゼッケンは着用しない。



ア. プラカード要員は始点標旗位置に至り、プラカードを進行方向に並行に90度本部席側に向け、終点標旗位置を通過した時点で再び90度元に戻し、行進を続ける。

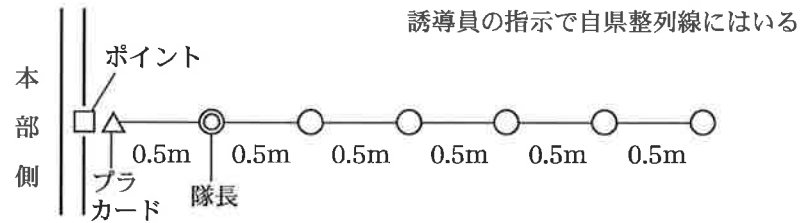
イ. 各隊長は始点標旗位置に至り、「頭^{かしら}～右」と号令し、観閲者に対し挙手注目の敬礼を行う。各隊員は号令により頭を右に向け行進する。また、隊長は終点標旗を通過した時点で「直れ^{なお}」と号令し、隊長及び隊員は頭を元に戻し行進を続ける。

ウ. 行進時は各コーナー誘導員の外側を回り、自県位置に至り、誘導員の指示に従い整列する。

(4) 式典整列

ア. 整列のポイントにはプラカードの柄をたて、プラカード要員を中心にそ

それぞれの距離、間隔をとって自主的に整頓し、隊長の指揮で「整列休め」の姿勢をとる。

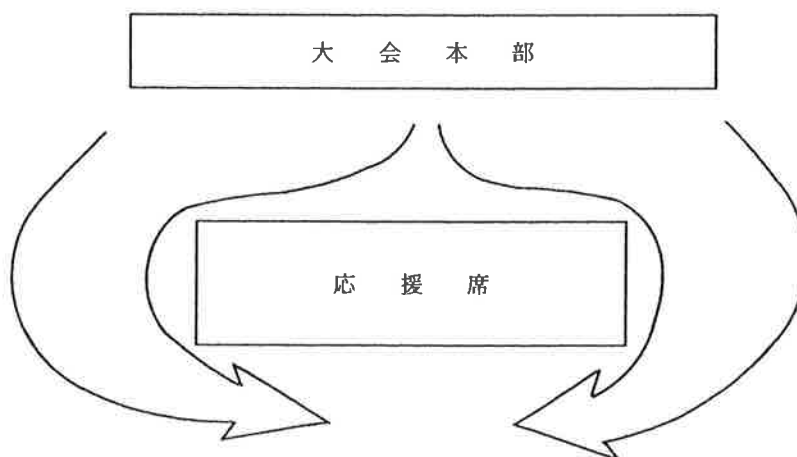


イ. 上記図のとおり、整列時の距離はプラカード要員から隊長までを0.5mとし、隊長と先頭隊員及び隊員間はすべて0.5mとする。

ウ. 隊長及び選手は右翼にならって整頓する。

2. 式典要領

- (1) 国旗掲揚及び降納は「選手団まわれ～右」の号令により選手団は向きを変え「国旗に対し～注目」の号令で注目する。(各隊長は挙手注目の敬礼)
また、プラカード要員のまわれ右については、プラカードを軽く持ち上げ、180度向きを変えプラカードを身体の正面で降ろした姿勢をとる。
- (2) プラカード要員の「整列休め」は左足を半歩開くのみとする。
- (3) 退場は総括指揮者の「選手団まわれ～右」「かけ足～進め」の号令により後向きになり、かけ足で応援団席後ろに一旦退場し、その後自席に戻る。



3. 閉会式要領

(1) 出場隊は、アトラクション開始時（概ね13時35分）に都道府県応援席（仮設スタンド）裏に、集結し待機する。

なお、プラカード要員は事前（概ね13時35分）に出場隊集合位置に集合し係員の指示を待つ。

(2) 服装についてはゼッケンを着用する。

(3) 総括指揮者の「プラカード位置に付け」の号令により、プラカード要員のみかけ足で閉会式隊形に整列し、プラカードを頭上に掲げる。

(4) 総括指揮者の「選手団、自県プラカード位置に 集まれ」の号令で自県のプラカードの後ろに閉会式同様に一列縦隊で集合する。

(5) プラカードを降ろす時期は、選手団が集り総括指揮者の「右へ～ならえ」の後の、「なおれ」の号令で降ろす。